

南アフリカ為替週報

2022年5月5日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去1週間の動き＞

(4月28日～5月4日)

USD/ZAR: 15.7200～16.1950

ZAR/JPY: 8.04～8.27 (参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は、対ドルで大きく上下動を繰り返した。とりわけ、2日の急落、3日の急反発は、対円でも観察され、乱高下と言えるような値動きだったが、その背景は定かではなかった。29日のランド堅調は、同日発表された南ア3月貿易収支の予想外の大幅黒字を好感した可能性が考えられた。この局面、ランドは対ドルで15.7200、対円で8.27と、それぞれ週の高値をつけた。ただし、対円でのランド高が相対的に小幅にとどまったのは、東京勢が連休初日で不在な中、円の調整的反発が並行した結果だったのではなかろうか。週明け2日は、ロンドンに加え、南ア市場も休日で、流動性に乏しい相場でランドは欧州勢の参入と同時に全面急落。この局面のランド売りに敢えて要因を探すとしたら、前1日、ラステンバーグで行われた労組集会に登壇したラマポーザ大統領が激しいブーイングを浴び、演説中止を強いられたことを挙げることはできた。ただ、同大統領が労組全般の支持を失った=今後の各種改革の進捗を不安視という解釈がランド売りを誘ったのだとしたら、翌3日、その不安を覆す要因が確認できない中でランドが対ドル、対円共に全戻してしまっただけの説明がつかない。要因はともあれ、薄い相場でまとまったランド売りが仕掛けられ、市場参加者(流動性)の厚みが戻ったところで修正されたと読むのが妥当な解釈と言えただろう。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
4/29	6:00	民間部門信用(前年比)	3月	+5.89%	+5.35%	+3.62%
	12:00	貿易収支(ZAR)	3月	+45.9bn	+22.0bn	+11.5bn
	12:00	財政収支(ZAR)	3月	-37.2bn	-30.5bn	-3.4bn
5/3	12:43	自動車販売統計(前年比)	4月	+4.3%	+10.5%	+16.5%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(5月5日～5月11日)

USD/ZAR: 15.600～16.000

ZAR/JPY: 8.15～8.35

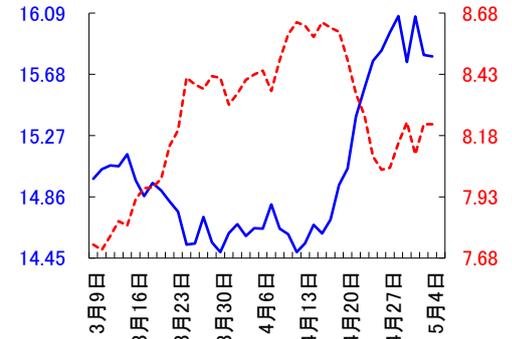
向こう1週間の南ア・ランド相場は、方向感を欠いた膠着を予想。南ア政治・経済の現状をどう解釈し、今後どうなっていくのか、明確な視座を持つことが難しい。方向感の欠如を見込むのは、有体には「よくわからない」からだ。例えば、3月貿易収支の大幅黒字も、経常黒字拡大、財政収支改善という目線で見れば南ア経済にとって歓迎すべき展開と読めるが、その黒字増を輸出の大幅増(前月比+30.9%)と輸入の伸び悩み(同+7.1%)の組み合わせがもたらしたと解釈すれば、内需低迷の結果=景気減速の兆候と受け止めることもできる。上述、ラマポーザ大統領の演説取り止めも、進行中の賃金交渉に対する一部金鉱労働者の不満が爆発した結果だが、ラマポーザ大統領派が、近年、公務員賃金の伸びを抑制してきた経緯は、これまで、一般に、財政健全化に向けた「成果」と受け止められていた。与党アフリカ民族会議(ANC)の、「訴訟の対象になった時点で、政府・党の公職を(嫌疑が晴れるまで)退く」との方針(注)も、マガシューレANC幹事長を停職に追い込むなど一定の成果を挙げてきたのは確かで、「前進」と評価できる。一方で、4月に行われた与党の地方組織役員選挙で(クワズールーナタール州のエテクウィニ、ムプマランガなどで)、汚職容疑や殺人容疑(!)を掛けられたズマ前大統領派の候補たちが当選した事実(党役職を実際に執行するか否かは別問題)は、党内派閥の確執の深さ/宥和の困難を物語る経緯と言えよう。クワズールーナタール州は、先月の洪水で最も深刻な被害を受けた州であり、ズマ前大統領派(革新的経済移行(RET)派)の牙城であり、ダーバン港と周辺インフラを抱える南ア経済の要衝でもある。迅速な政府支援の投入、迅速な復旧は、或いは与党宥和の大きな前進に資するとも期待したが、現在までに、そうした期待よりも、南ア経済に及ぼす中期的な悪影響の方が気掛かりな状況に傾いてきているように思われる。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
5/9	6:00	総外貨準備高(USD)	4月			58.16bn

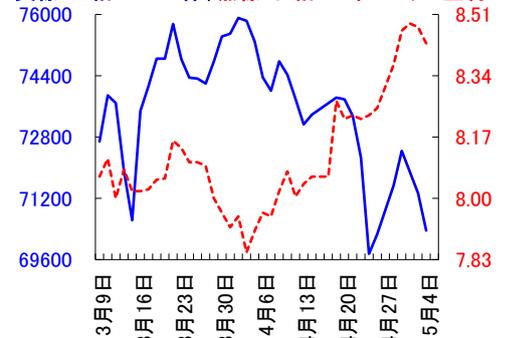
為替相場の推移(資料:ロイター)

実線/左軸: 対米ドル、点線/右軸: 対円



株式/長期金利の推移(資料:ブルームバーグ)

実線/左軸: JSE全株、点線/右軸: 10年スワップ金利



南アフリカ関係主要経済指標

政策金利(レボ金利)		4.25%
長期金利(10年スワップ)	5月4日	8.430%
株価指数(JSE全株)	5月4日	70357.58
成長率(GDP/前年比)	Q4	+1.7%
経常収支(ZAR)	Q4	+120bn
失業率	Q4	35.3%
消費者物価(前年比)	2月	+5.7%
小売売上高(前年比)	2月	-0.9%
製造業生産(前年比)	2月	+0.2%
鉱業生産(前年比)	2月	-6.0%
貿易収支(ZAR)	3月	+45.9bn
金価格(ロンドン17:00)	5月4日	1868.69

(注) step aide rule

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。